

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	令和5年5月実施
開催場所	20カ所全地域コミュニティ交流センター
出席議員	16人全議員
参加市民数	延べ260名の参加
議会報告	市民と語る会
意見交換	<p>1. 地域医療について</p> <p>（1）現状の不満</p> <p>①診療科の縮小、医師・看護師不足の原因を分析した取り組みが見えない。</p> <p>②医療スタッフ(医師、看護師)の患者対応の不満。邑智病院は親切な対応だ。</p> <p>③医療圏域が江津市・浜田市で確立していないのではないかと。 救急搬送され、夜に処置終了後の交通手段への不安。(タクシー料金含め)</p> <p>④産婦人科医のいない事で、分娩できない事への不安。 (若者の定住にマイナスイメージ)</p> <p>⑤補助金の検証は。</p> <p>⑥地域メディカルネットワークの機能しているのか。</p> <p>⑦済生会グループの支援はどのようになっているのか。</p> <p>（2）対策について</p> <p>①市民と議会と済生会病院と問題点の共有化を図る場を作り、課題解決に行政や医療現場、市民が一体的な取り組みが必要。</p> <p>②医師確保の補助金や奨学金免除などの施策の充実を。</p> <p>③邑智病院や大田市議会の医療問題の取り組みを参考にした対策を。</p> <p>④開業医の後継者不足と開業医のネットワーク構築を。</p> <p>⑤医師に愛着を持ってもらい選択・定着される地域医療に向け、地域ボランティアサポートシステムを立上げ、地域から済生会病院を応援する。</p>
	<p>2. 空き家対策について</p> <p>（1）危険空き家への対応</p> <p>①危険空き家解体の助成制度の拡充と解体・撤去(規制線や張り紙)などの行政主導による早急な対応を。</p> <p>②解体後の固定資産全の負担軽減を。</p> <p>（2）利活用空き家について</p> <p>①空き家対策と公営住宅建設は矛盾している。</p> <p>②空き家バンク登録について、UIターン者以外も対象とした柔軟な対応を。</p> <p>③空き家バンク登録のメリットや制度の情報発信の充実と入居者に対するアフターフォローの充実を。</p> <p>④水道未普及地域の空き家バンクの登録は厳しいため、対策が必要。</p> <p>⑤古民家のニーズ把握と情報発信を</p> <p>⑥空き家を改修し若者に貸し出し、持ち主は委託して収入を得る。</p>
実施内容報告	

- ⑦農地付き住宅の提供とお試し農業体験などの取り組みを。
- ⑧一人暮らしの施設入所後の迅速な対応が必要。
- ⑨相談窓口の設置を。

3. 少子高齢化問題について

- ①環境整備（草刈り、溝掃除、山の管理など）など維持管理が困難。（高齢化と若者不足による）
- ②担い手不足で、農地の維持が困難。更に市が進めるコミュニティ化の検証を。
- ③ピクニックランの運営について見直しを。
- ④介護施設の充実を。
- ⑤予防医療の推進を。
- ⑥市役所での各種手続きへの不安、DX推進によるサービス(丁寧な対応の人材の確保)の充実を。
- ⑦結婚相談課の設置を。
- ⑧子育て支援の充実。(出産から子育てまでの無償化の推進)
- ⑨若者が戻れて働ける場の確保。
- ⑩幼児期・小中学校時からの、郷土愛の持てる市独自の教育を

4. 地域コミュニティによるまちづくり

(1) 現状について

- ①担い手（後継者がいない）不足で、変わりたくても変わらない。
- ②奉仕活動などの地域行事が難しくなっている。
- ③自動草刈り機の購入費の助成を。
- ④コミュニティ事業 10 年経過。今後も継続の見通しは。(繰越金あるうちは継続できるが、資金がなくなった時の扱いは)
- ⑤コミュニティ事業にのめり込めるほど生活の余裕ない。半農半 X では困難。

(2) 対策について

- ①後継者（若手の）の育成と市役所退職者の地域貢献ボランティアの仕組みを。市役所現役者の関わる環境を。(役員になってほしい)
- ②コミュニティ事業が、親子で地元愛(地域文化や伝統の良さを知る)を共有できる取り組みの強化を。(子供を引き付ければ親がついてくる)
- ③世帯数の減少や独居者の増加の中、健康寿命・元気で暮らす地域に向け、日頃の安否確認などの支え合い繋がりのある地域づくりを。

5. 地域公共（生活）交通について

(1) 地域の交通問題

- ①交通弱者に配慮した限定的なバス運行やバス代補助金制度の創設を。
(免許返納で、通院・買い物、日常生活が困らないバス・タクシー代補助を)
- ②地域利用者の意見（料金、運行日や時間帯など）を反映し、柔軟な対応を。
- ③タクシー事業の早期の再開に向け、市としてしっかり後押しを。
- ④公共交通について「コミュニティで検討を」と言われるが、参考例(他市や他地域の先進地事例)など示すなどサポートを。
- ⑤市独自（石見交通でなく）の交通網の作成を。

⑥石見交通の存続を。(有福線)

⑦100円市民バスの導入を。

(2) 生活交通など買い物弱者政策の充実を

①移動販売の地域のニーズの把握と地域と連携した取り組みと、支援金制度の創設を。

②地域公共交通会議に、利用者(無免許の主婦、子ども、高齢者など)・住民の意見反映を。

③スクールバスの空き時間帯の生活バスとしての利用を。

④デマンドバスの導入と充実を。

⑤郵便局(地域の)を活用した、買い物配達支援を。

6. 学校統合問題について

①学校がなくなった地域は寂しい。地域で子供を見守る環境が良い。統合の見直しを。

②建設費40億円(浜田の石見小37億円、美川小25億円)に疑問。まとめればいいものでない小さいなりに良いところある。統合に反対。

③統合するメリット、デメリット含め、改めて保護者の意見を言える場を。

④学力の観点だけでなく、地域が存続できるかどうかの観点で検討すべき。

(30年、40年経つと変わってく)

⑤津宮小が候補地だが、旧校舎はどうするのか。

⑥通学路の整備(拡幅などの)についての考えは。

⑦学力や体育の面で環境を整えるために早期の統合を。

⑧フリースクールなど不登校児童支援などに力を入れてほしい。

⑨統合した場合、川波小学校をフリースクールに。

【桜江地区】

①5年・10年後が心配。維持する方策を。

②地元の学校に通うために、部活の自由選択を。

7. 図書館問題について

①利用しやすく、交流もできるような図書館建設を。

②図書館建設の見通しを示してほしい

③図書館建設が後回しに納得がいかない。市債を発行しても建設を。

8. 治水対策について

(1) 集団移転について、

①移転先の住民との、コミュニケーションの不安解消に十分な配慮を。

②高齢者の移転を優先した対応を。

※昭和47年災から50年、65歳以上が55%以上。元折地区は10年かかると言われ、お年寄り達がいなくなる早急に進めて欲しい。

③情報共有の説明会の定期開催で進捗を伝えてほしい。命がかかっている。

④郵便局も長期間閉鎖された、対策を急いでほしい。

⑤川で土砂が溜まるポイントがあるが対策を。

(2) 内水対策

- ①樋門の操作における連絡・連携について、迅速にできる対応を。
- ②ポンプ車が配備されたが、道路が冠水した際の対応の検討を。
- ③ポンプ車が来ても、ポンプ使用の了承までの迅速化を。

9. 定住対策について

- ①移住定住対策のさらなる推進を。
- ②危険区域等（長谷）の解消を。

【水道対策】

- ①本明の水道は、若者の移住・定住に必要なインフラ。水道未普及地域の解消を。（農業で移住希望はあるが、住むところで断念する状況だ。空き家対策を）
- ②飲料水確保で、沢水であってもタンク槽への補助を。
（転がし配管も認めて欲しい）

【有福温泉地域】

- ①再生事業で、ワーケーション設備、ホテルができて、空き家（水道ない）活用して住むより、通勤となる。住民票を持ってきて地域に根付いてほしい。
- ②新たな泉源の開発と、「民家に配湯」などの新たな活用を。

10. 雇用の場の確保と女性の活躍の場について

(1) 働く場の確保

- ①工業団地の誘致企業は外国人労働者が多い、地元高校生の採用を優先的に。
- ②奨学金の肩代わりなど、企業や行政で補助。
- ③男性の職場はあるが、女性の職場が少ない

(2) 女性の活躍

- ①婦人会の活動が衰退気味。女性が残れる地域となる政策を。
- ②女性のリーダーがいなくなった。文化芸能など活発化させ、女性が活躍できる政策を。

11. 行政・議員・議会について

- ①市や議会の情報公開を進めてほしい。方針やスローガンに一層キラリと光る江津とあるがどういう事か、またコンパクトシティの状況、高速道路アクセスがどうなるか、通行止め道路の状況、陳情要望がどうなったか等、市の考えや取り組みや効果、対応状況等について見えない。また、各議員の状況や議案に対する主張も見えない。
- ②他の、地域づくり取り組みを知る情報交換、交流の場がほしい。
- ③DX 推進ではペーパーレス化を進めてほしい。
- ④予算について、財源は限られるため、もっと重点を絞った方がいいのでは。
- ⑤今回の全地域での市民と語る会の取り組みは今後も続けてほしい。
- ⑥市議会議員定数を削減し歳費を増やす。
- ⑦議員の危機意識を高める必要がある。(?)

【物価対策】

- ①水道料が高い、6人家族で2か月で16000円、今後人口減少で更に高くなるのではと不安になるので低減を。
- ②電気代、ガソリン代が高騰し、子育て世代はつらいので対応を。

12. 農業問題(害獣被害対策含む)について

【農業支援などについて】

- ①一人農業者の農地災害復旧に際しての補助を。
- ②農地基盤整備に補助を。
- ③農業経営が大変難しく、補助が必要。

【農産物の魅力化について】

- ①地区ごとに特徴ある野菜をつくらないと、産直は発展しない
- ②サンピコ、良品求められると自信がなければ出せないし、規模を大きくしないと難しい。
- ③サンピコ手数料(手数料15%、集荷で20%)が高いため、個人で販路拡大した方が良い。付き合いで出すが、サンピコに出すよりよそに出した方がよいならば、サンピコに良いものが集まらない。
- ④新たなライスセンター建設となると、玄米は1年しか保管できないため、新たな設備投資が個人に発生する。また他人が作った米と混ざるが、このことは事前アンケートでは話はなかった。耕作者の喜ばれる方法に変えて欲しい。

【鳥獣害対策】

- ①コミュニティで狩猟免許を取得補助を。
- ②猟師も高齢化で、今後どうするか市の考えは。

13. 旧庁舎について

- ①クローズアップ現代で出た。歴史的価値はあるが、維持管理が大変になる。解体が現実的。
- ②(購入などについて) 大々的に募集しては。
- ③旧庁舎を利用した図書館を。今のところ(図書館)はダメ。
- ④旧庁舎を図書館にするにも、何年もつかの検討が必要。
- ⑤図書館で利用を。

14. 市道の安全管理について

- ①二宮地域では住宅団地化の割に、道路が整備や排水溝の整備も遅れている早急な対策を。
- ②渡津から江津駅や市役所までバリアフリー歩道の整備を。

15. その他

- ①各地域の自然豊かな良さの発信してほしい。故郷があるという事は大切。
- ②風の国について、企業の考えもあると思うが、地域で利活用したい。
- ③草刈り事業の報告をもっと簡素化できないか。
- ④道路整備に力を入れて欲しい。
- ⑤自治会のシステムや地域のつながりの仕組み改革が必要。70歳まで働く人も多く、世話人のなり手不足。自治会長を10年近く担うケースがある。
- ⑥「石見はひとつ」江津というブランドより石見というブランドに力を入れるほうが良い。
- ⑦子育て支援センターに「まかせて会員」を登録しているが、利用者少ない。ファミリーサポートの助成と利用1時間800円の無償化を。
- ⑧災害対策・・・危機管理は当然重要だがリスク管理(減災)の考えも重要
- ⑨避難所の充実・・・非常用電源コンセント、床の張替え、電灯(市山体育館)を。
- ⑩地域の道路(市道・県道)の草刈りをしているが高齢化・人口減少で大変になってきている
- ⑪八戸川改修の見通し(スケジュール)。
- ⑫駅前にホテル利用者は、コンビニもなく、飲食街も散在。宿泊客の集客力の

	<p>向上を。</p> <p>16. 地域の改善など要望について</p> <p>①旧谷住郷小学校体育館の破損窓ガラスの改修を。(災害時避難場所)</p> <p>④旧谷住郷小学校校庭の桜の木の枝が県道にまで伸びている。伐採をしていただきたい。</p> <p>③桜江 A コープに回る地域バスの充実を。</p> <p>④統合小学校の進捗状況は</p> <p>⑤障がい者認定で補助はあるが、それ以外は無いため補聴器購入の助成を。</p> <p>【治水対策要望】</p> <p>①下ノ原地区の樋門に小屋がないので設置を。</p> <p>②下ノ原地区の砂防堰堤に砂利が溜まっているので撤去を</p> <p>【市道の管理について】</p> <p>①市道の影切りの伐採を (大型車が当たらないと切らない、3 m以上)。</p> <p>②市道の枯れ松の管理や落ち葉の撤去を (道路パトロールによる点検を)。</p> <p>③観音町の側溝に蓋がなく危険 (12年前から要望)。深さも55 cmあり、掃除も大変である。</p> <p>【鳥獣害対策】</p> <p>①網や花火等で対応している。収穫しない果樹の伐採などの対応を。</p> <p>③農業獣害ではイノシシ、サル、鹿と多いが、サルが人口よりも多く苦勞している。サル対策で爆音機を使用しているが、近隣の方へ申し訳ない。</p> <p>⑤10年ほど前に、県から獣害対策の説明会で結論は「共存してください」だった。これでは困る。</p> <p>⑥イノシシが住宅の近くで死んでいて腐敗臭ひどく、市に対応求めたが「処理できない」と言われた。</p>
要望・意見等	(意見交換に含む)
その他 特記事項	なし

令和 年 月 日

江津市議会議長 藤間 義明 様

広報広聴特別委員会委員長

植田 好雄

㊞